



伊勢湾台風

日本の防災の幕開け

伊勢湾台風により浸水した三重県桑名市
(写真)陸上自衛隊撮影 中部地区自然災害科学資料センター所蔵 国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所提供

1959 Isewan Typhoon

-The Starting Point of Disaster Prevention in Japan-

2014.9.2 ▶ 10.18

- 開館時間:13:00~16:00
- 休館日:日・月・第2・第4火曜日
- 入場無料

名古屋大学減災館
名古屋市千種区不老町
052-789-3468
<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>



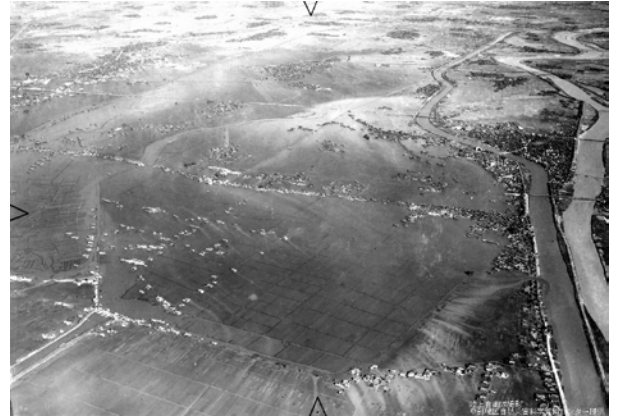
減災館第1回特別企画展

1959年伊勢湾台風

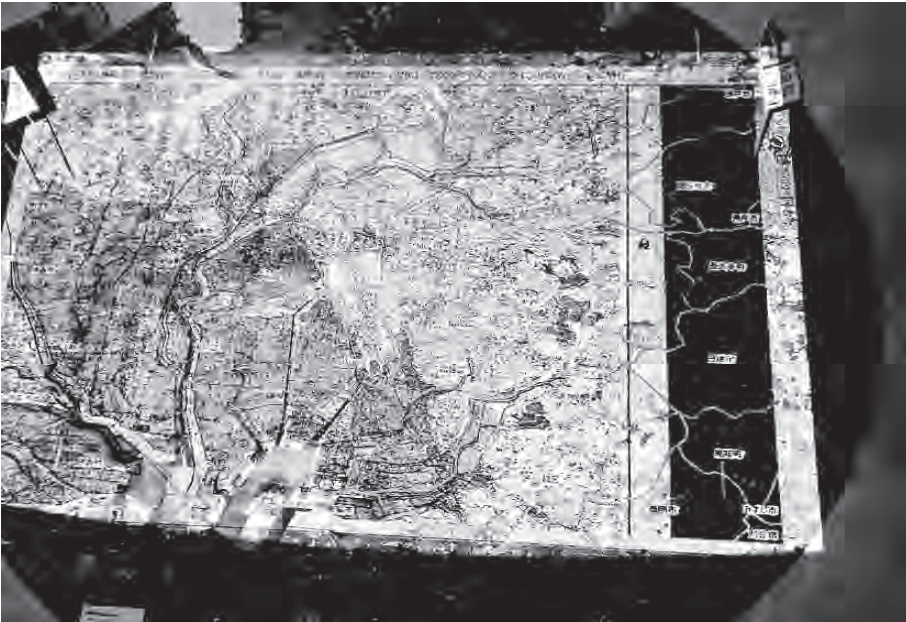
減災館第一回特別企画展示

日本の防災はここから始まった

1959年の伊勢湾台風は、第二次世界大戦後の高度経済成長期にある日本の都市を直撃した災害であった。被害は、愛知県・三重県・岐阜県にわたり、高潮に伴う破堤・浸水により被災地は3か月近く湛水し、復旧・復興に多大な時間と労力を要した。伊勢湾台風の経験は、日本に「防災」の重要性を認識させ、その復興過程において、新たに災害対策基本法が制定され、防災の日が制定されるというように、現在の日本の災害対策の基礎となる制度や取り組みが構築された。本企画展では、伊勢湾台風の被害を紹介するとともに、伊勢湾台風からの復興過程において構築された防災の制度・研究を展示を通して紹介する。



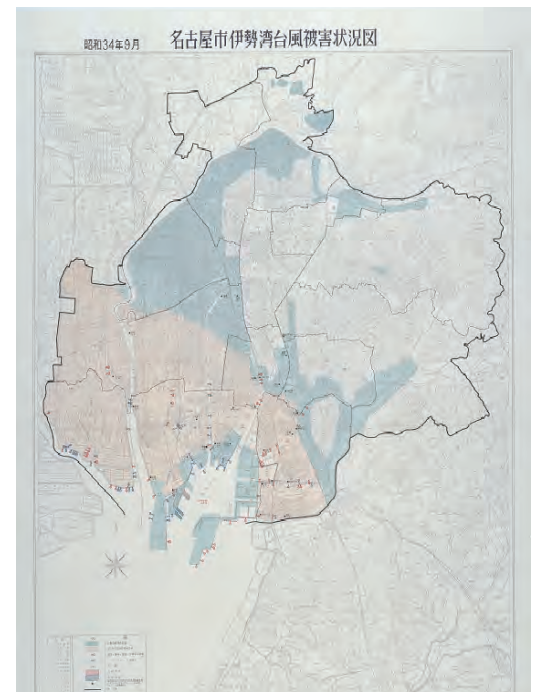
新川と南陽海岸の両方の破堤により浸水した名古屋市港区南陽町（木曾川文庫蔵）



NORTON で床面大地図に再現した伊勢湾台風の浸水域



伊勢湾台風を受けて新しく開設された名古屋大学土木工学科



名古屋市伊勢湾台風被害状況地図
(名古屋市都市センター蔵)

もっと、伊勢湾台風を知ろう！

減災カフェ

■10月1日(水) 18:00~19:30

■減災ギャラリー

■ゲスト：辻本哲郎

(名古屋大学大学院工学研究教授)

■タイトル

「伊勢湾台風から55年で考えなければならぬこと」

防災アカデミー

■11月27日(木) 18:00~

■減災ホール

■講師：諸戸靖

(輪中の郷館長)

■タイトル(仮題)

「伊勢湾台風と輪中」